

# ダイヤモンド就活ナビ2023

## モニターレポート 2月調査



### 【調査概要】

- 調査対象 / 2023年3月卒業予定の大学院生・大学生
- 有効回答 / 763名
- 調査期間 / 2022年2月7日(月)～2022年2月16日(水)
- 調査方法 / WEB入力フォームより回答

#### ■ モニターレポート 2月調査内訳

文理	文系:76.9% 理系:23.1%
エリア	北海道:10.1% 東北エリア:2.8% 関東エリア:62.0% 甲信越エリア:1.4% 東海・北陸エリア:4.3% 関西エリア:11.5% 中四・国圏エリア:6.8% 九州・沖縄エリア:1.0%
回答の多かった大学	慶應義塾大学 日本大学 中央大学 早稲田大学 明治学院大学 東京大学大学院 東洋大学 小樽商科大学 法政大学 明治大学 東京外国語大学 関西学院大学 一橋大学 國學院大學 専修大学

### トピックス

#### 1 インターンシップ類参加状況

インターンシップ類に参加した学生は71.8%(22卒)→75.2%(23卒)で増加参加のための選考は夏(6月～8月)の受験が73.4%で最多となり早期化傾向

#### 2 採用選考

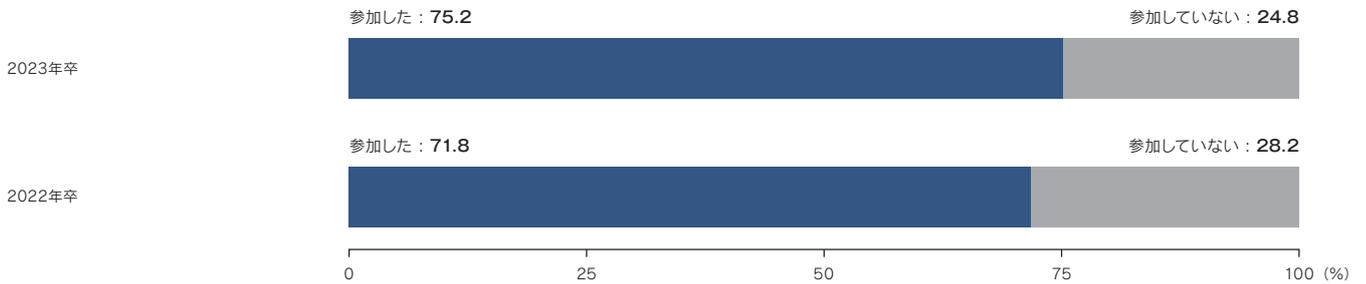
選考に「進んでいる」51.9%、内定獲得18.9%と早期選考が進んでいる様子  
希望する面接方法は「オンライン」「どちらかといえばオンライン」が61.2%で8.4ポイント増加

#### 3 就活観

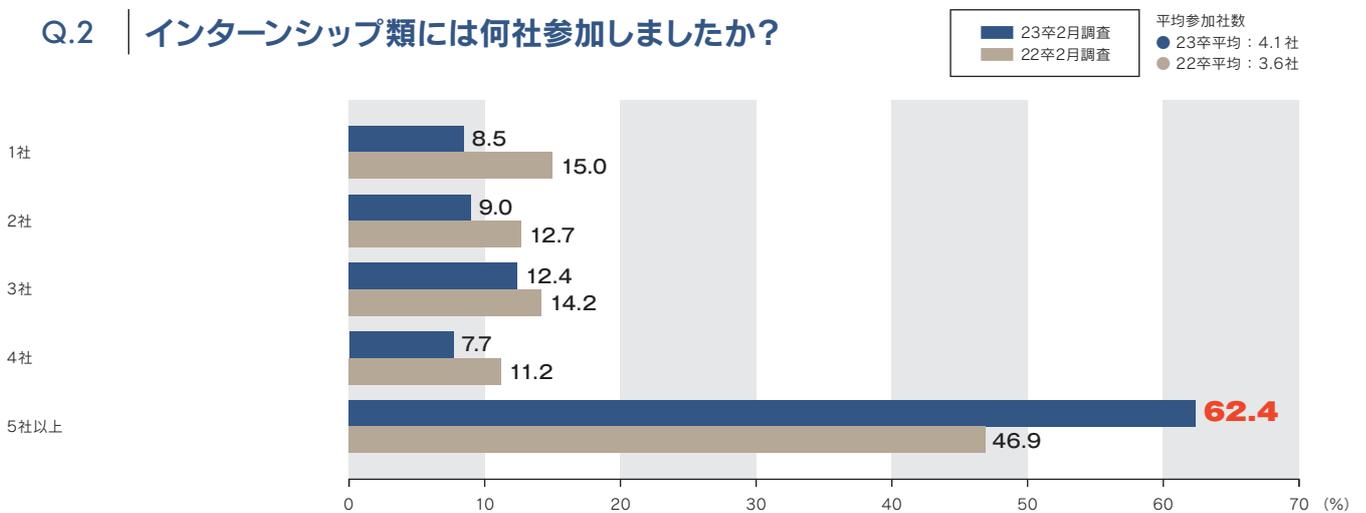
企業選びの基準は例年とほぼ変わらず「社風がよい」55.2%、  
「仕事に魅力を感じる」55.2%、「安定性(経営基盤)がある」26.3%の順に  
企業規模に対する希望は「大手企業を優先」「できるだけ大手企業」が過半数53.1%となり11.8ポイントも増加

# 1 インターンシップ類参加状況

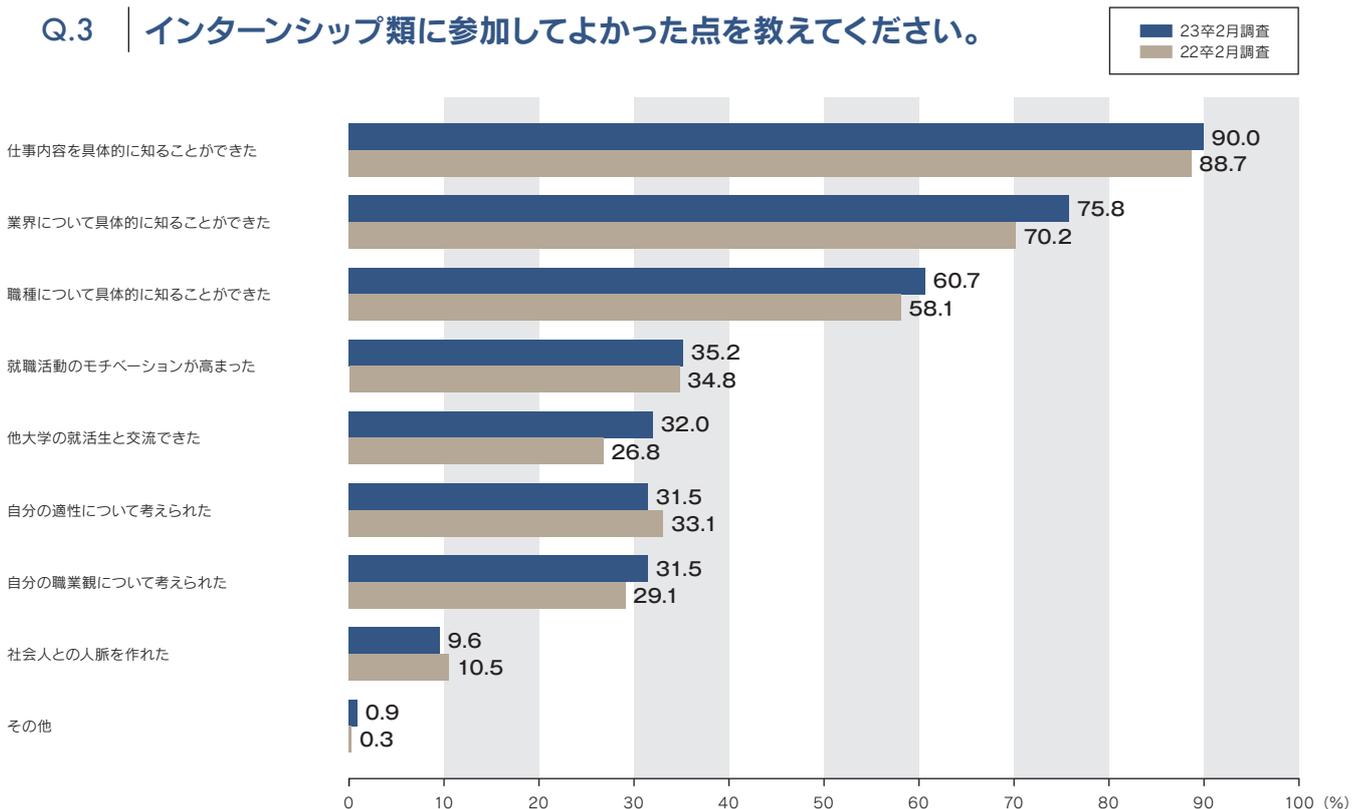
## Q.1 | 今年度の企業主催のインターンシップ類に参加しましたか？



## Q.2 | インターンシップ類には何社参加しましたか？



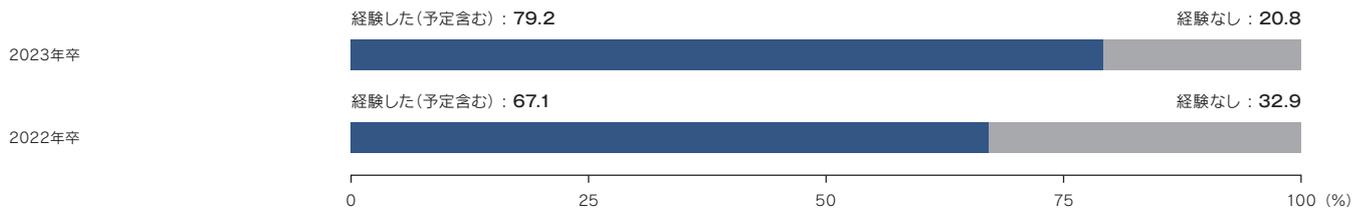
## Q.3 | インターンシップ類に参加してよかった点を教えてください。



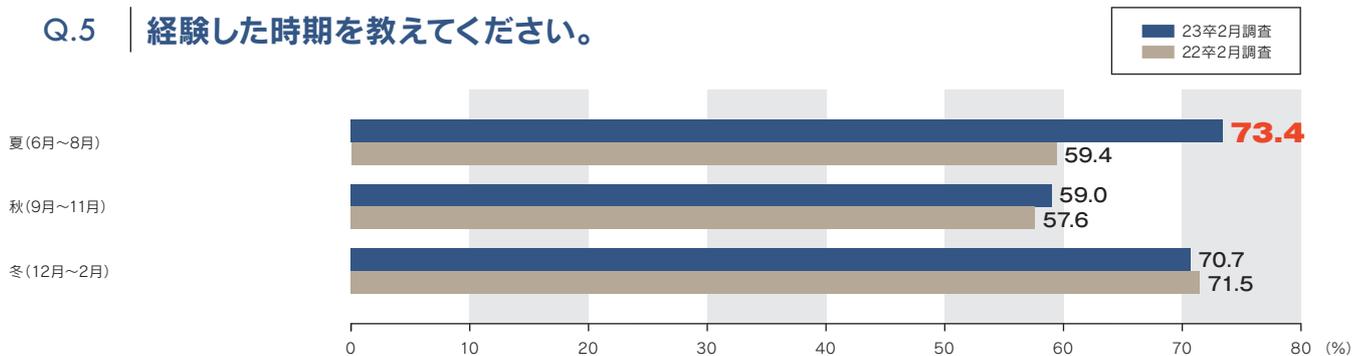
■ インターンシップ類実施内容事例

業種	参加日数	実施形式	実施内容	具体的なプログラム内容	企業への印象	その理由
医薬	2~4日	グループワーク型	人事の方の休日の過ごし方を立案し、プレゼンするワーク。 人事の方の年齢や家族構成、趣味などをヒントに休日はどうのように過ごしたら良いか考える。	オンライン	その企業で働きたいと思った	志望職種なうえ、その職種のいい所だけでなく大変な所まで体験出来たため。 フィードバックでは、良かった点悪い点を全てのチームに言っていただけ。フィードバックでは、良かった点悪い点を全てのチームに言っていただけ。
小売	半日	就業体験・実践型、グループワーク型	事前準備ありで、スーパーバイザーの仕事の流れを体験。グループワークを通し意見交換し、より理解を深めた。	オンライン	その企業で働きたいと思った	オンラインだったが、体験型だったので、働く内容がイメージできた。社内の雰囲気までは掴めないが、フィードバックもあり、就活を意識し始めた頃の私には非常に有意義なインターンだった。
出版	1日	就業体験・実践型	新人賞の模擬選考。 仮の作品を複数事前に読み、事前課題として講評を考えておくというもので、実際に模擬での選考会議をインターンで経験し、色々な人の作品の見方や意見が聞けて有意義でした。	オンライン	その企業で働きたいと思った	厳しいながらも、とても良い人が多く、自分が仕事をする中でも一緒に仲間としてやっていきたいという気持ちになりましたし、より自分が働くイメージができたからということが最大の理由です。 全員に後日、担当者からフィードバックがあり、とても感動しましたし、参考になりました。
設備	半日	グループワーク型、セミナー・見学型	なぜお客様に選ばれているのか。	オンライン	その企業で働きたいと思った	和やかな雰囲気で行われたことや、オンラインでの会社見学があったことで具体的なイメージを掴むことができたからです。
保険	半日	グループワーク型、セミナー・見学型	保険金サービス部門のお支払い業務に関するワークで、架空の事故における責任割合を各グループで議論し発表した。	オンライン	その企業で働きたいと思った	働いている社員の方々が、最後まで諦めることなく挑戦し続ける考え方の人が多く、価値観が合うと思ったから。
保険	半日	グループワーク型、セミナー・見学型	自己分析講座。 過去の自分を振り返り発表する。	対面	その企業で働きたいと思った	就業体験ではなかったが、就活生の関心のあるプログラムを提供していただいて、顧客第一を体現していると感じた。
印刷	半日	セミナー・見学型		オンライン	どちらともいえない	やはりオンラインでは、企業の雰囲気を完全に感じる事が出来ないため。
信託	半日	セミナー・見学型	2008年、2012年の時点でみた日本企業5社の将来の株価・業績を予想する。	オンライン	その企業で働きたくないと思った	働く姿が想像できなかったから。

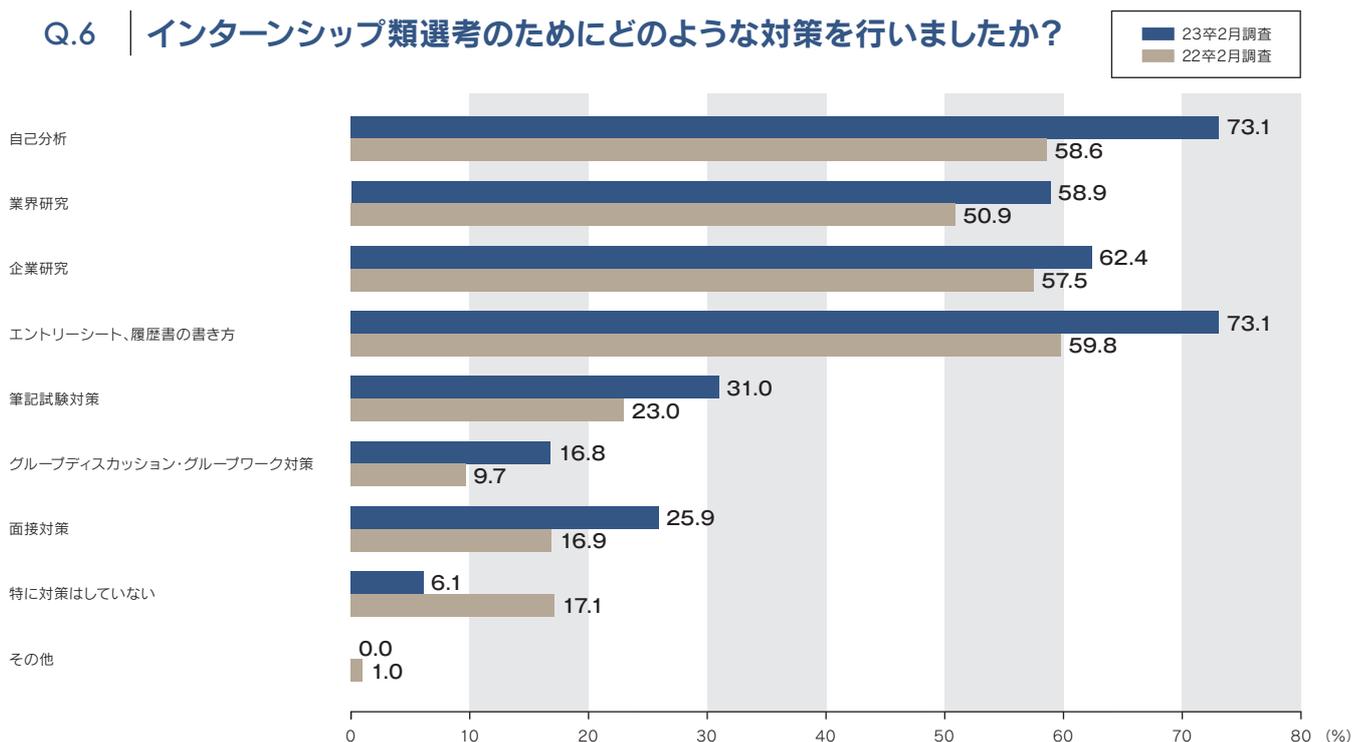
## Q.4 | インターンシップ類参加のための選考は経験しましたか？



## Q.5 | 経験した時期を教えてください。



## Q.6 | インターンシップ類選考のためにどのような対策を行いましたか？



### comment

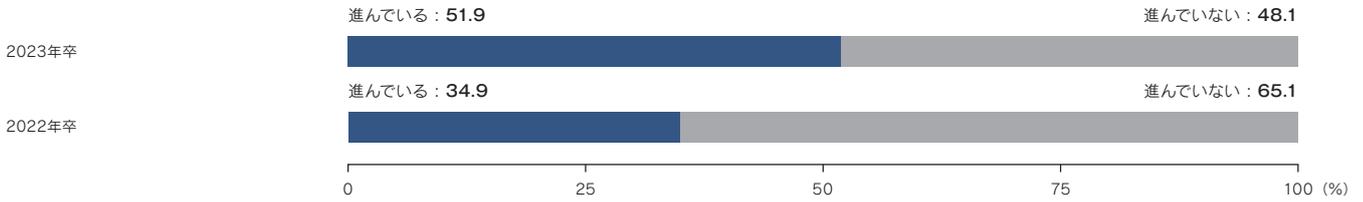
インターンシップ類に参加した学生は75.2%(23卒)で22卒同時期調査(71.8%)から増加した。参加した感想は「仕事内容を具体的に知ることができた」が9割となったほか「業界について具体的に知ることができた」「他大学の就活生と交流できた」のポイントが増加した。

参加のための選考を経験した学生は67.1%(22卒)→79.2%(23卒)と増加しており、夏(6月~8月)の受験が73.4%で最多となり早期化が見られる。

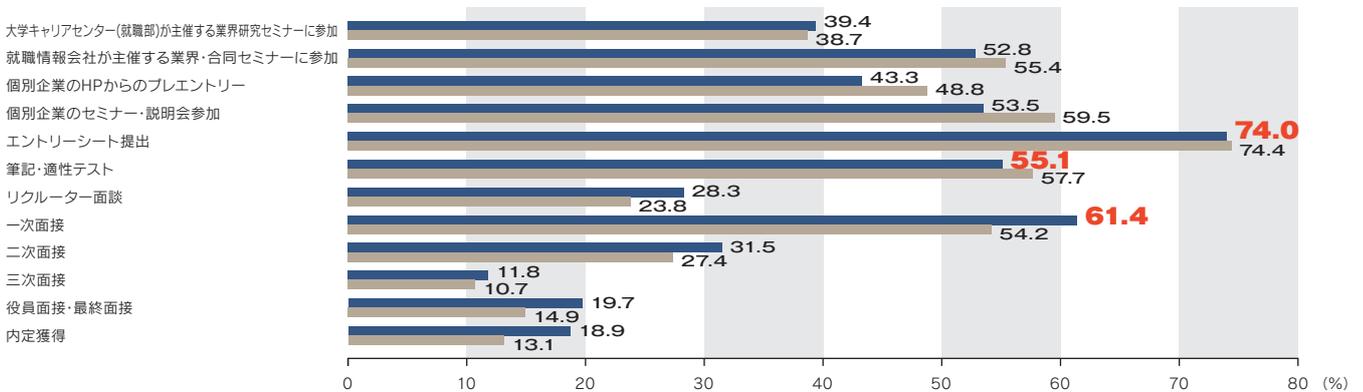
インターンシップ類の選考対策は、22卒と比較してすべての選択肢でポイントを伸ばした一方で「特に対策はしていない」学生は17.1%(22卒)→6.1%(23卒)と減少し、選考対策が進んでいる様子が見える。

## 2 採用選考

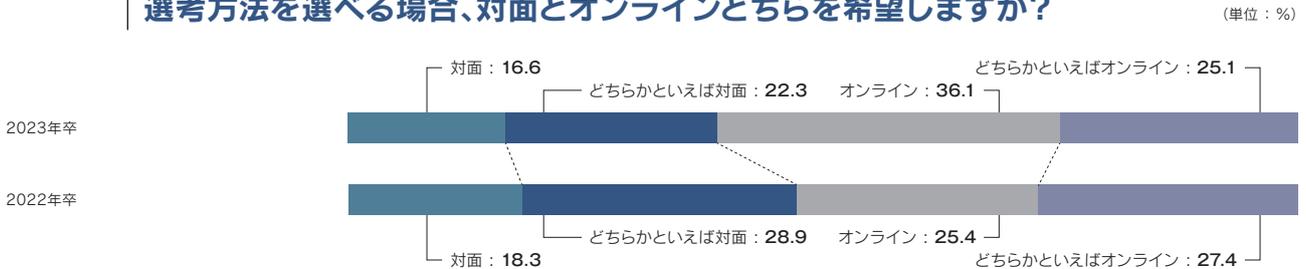
### Q.7 企業の採用選考に進んでいますか？



### Q.8 現在の採用選考の進捗状況について、当てはまるものを全て選択してください。



### Q.9 面接選考について伺います。選考方法を選べる場合、対面とオンラインどちらを希望しますか？



#### 回答学生の声

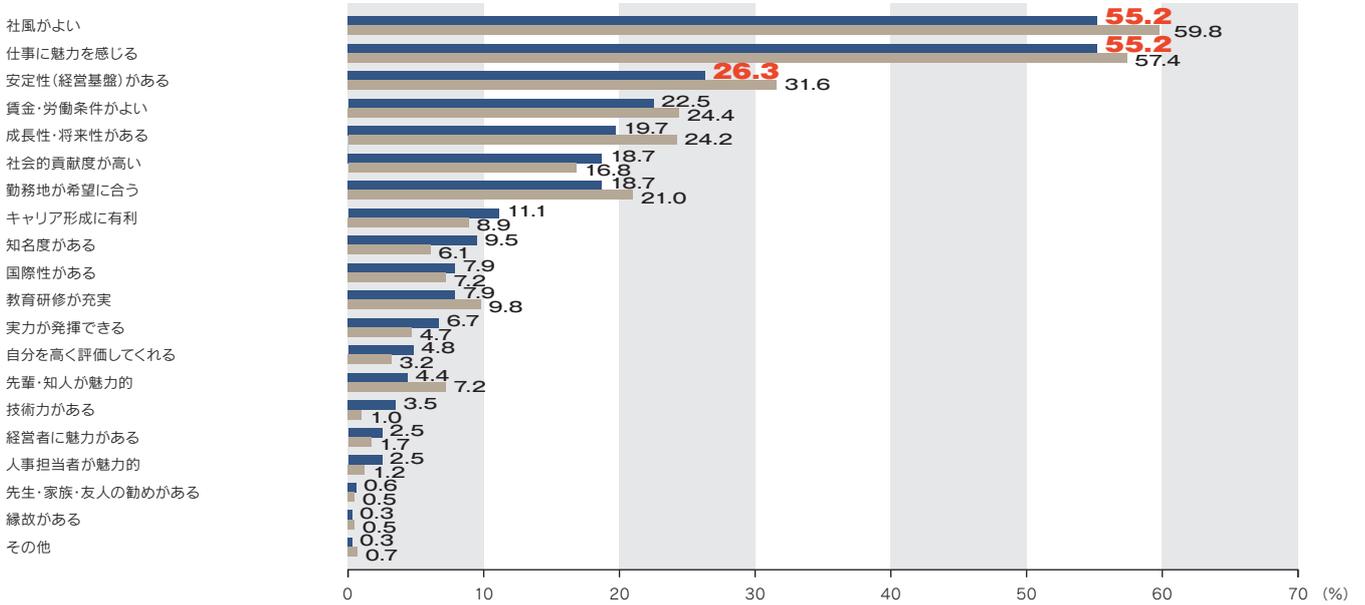
対面・どちらかといえば対面	気が引き締まり、モチベーションが上がる／オンラインはマナーがまだ確立されていない／途切れないか不安／音と映像だけで自己アピールしなければいけないので、対面の方が雰囲気を感じてもらえる／オンラインは自分の見え方が気になり緊張する
オンライン・どちらかといえばオンライン	全身をチェックされる圧迫感を感じないから／落ち着いて素が出せる／対面だと気がつくことが増えるから(ノックの回数、座るタイミングなど)／移動時間がなく1日に複数社の面接が受けられる／直前まで自分のマインドを調整できる／オンラインの方が慣れている

### comment

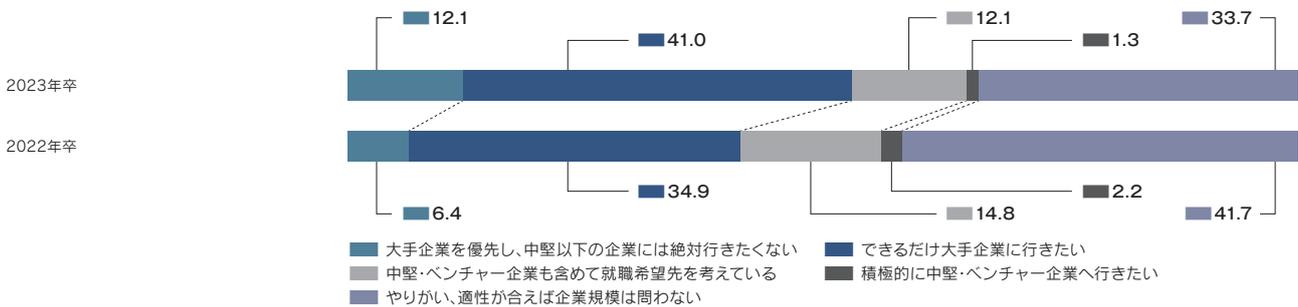
企業の採用選考に「進んでいる」と答えた学生は34.9%(22卒)→51.9%(23卒)と増加し半数を超えた。「内定獲得」も13.1%(22卒)→18.9%(23卒)となり、3/1の採用広報解禁前に早期選考が進んでいることがうかがえる。学生の希望する面接方法は、「オンライン」「どちらかといえばオンライン」が52.8%(22卒)→61.2%(23卒)と増加した。選択理由として、対面派は気が引き締まる、音と映像だけでなく自分の雰囲気を感じてもらえる等を挙げていて、オンライン派は時間の有効活用や、リラックスして面接に臨める等と回答している。

### 3 就活観

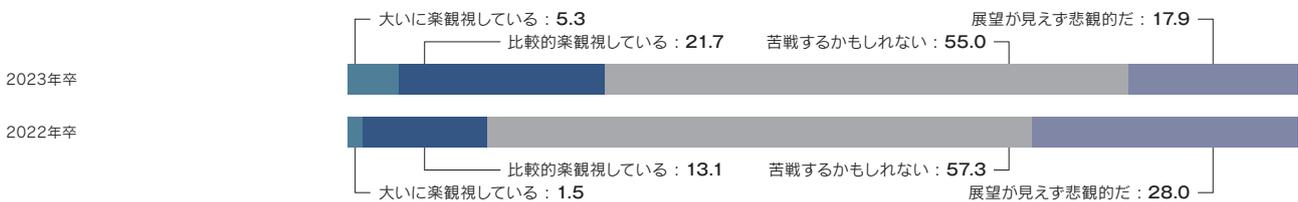
Q.10 企業を選ぶ基準は何ですか？現在の考えに近いものを3つお答えください。



Q.11 どんな企業に入社したいと思いますか？現在の考えに近いものをお答えください。(単位：%)



Q.12 就職活動に向けて、現在の考えに近いものをお答えください。(単位：%)



### comment

企業選びの基準は例年とほぼ変わらず「社風がよい」55.2%(23卒)、「仕事に魅力を感じる」55.2%(23卒)、「安定性(経営基盤)がある」26.3%(23卒)の順となった。  
 入社を希望する企業は「大手優先」「できるだけ大手」と答えた学生が41.3%(22卒)→53.1%(23卒)とアップし、長引くコロナ禍にあって経営基盤の安定している大手を志望する傾向が強まった。  
 就職活動の見通しについては「苦戦するかも」「悲観的だ」が85.3%(22卒)→72.9%(23卒)と減少した一方で「大いに楽観視している」「比較的楽観視している」が14.6%(22卒)→27.0%(23卒)と楽観的な学生が増加した。